

|      |  |               |      |
|------|--|---------------|------|
| 活動分野 | 森に親しむ懇談会（もりこん 143）                       |               |      |
| タイトル | 観察会てんぱり日記                                |               |      |
| 実施日時 | 平成 29 年 4 月 20 日（木）18 時 45 分 ～ 20 時 45 分 |               |      |
| 実施場所 | 船橋市中央公民館                                 |               |      |
| 受講者  | 23 名                                     | F I C 会員他スタッフ | 19 名 |

### 活動の内容

講師は、全国の森林インストラクター女性第 1 号の岩谷美苗さん。本の執筆中でお忙しい中、埼玉県の狭山市からおいでいただきました。受講者は、森林インストラクターのほか、現在、資格取得のため勉強中の方々も参加されました。以下、若干補足して報告します。

▶子どもたちや一般の方々に樹木の話をする場合、いきなり樹木の専門的な話をして興味をもって聞いてもらえません。日本では、小学校から高校まで、特に樹木について学ぶことは無いため、樹木について基本的な知識も一般の方は無いのが普通です。そこで、岩谷さんは長年にわたっていろいろ「工夫」をして来ました。しかし、いつもうまくいくとは限りません。森林インストラクターとしての失敗談を「観察会てんぱり日記」として楽しくマンガで連載しています。（形が）おもしろい木を見つけに行きましょう



参加者で葉っぱカルタの検討

という企画をいろいろな機会に試すと子どもたちや一般の参加者には、楽しんでもらえることが多いのですが、観察会の指導者を対象に研修会でやったら、おじさんたちに「なんでそんなことするのか」と総スカンを食って、テンパってしまったことがあったことなど。植栽木がアルバカの形に見えたり、顔の形に見える幹の模様など面白いものはたくさんあり、なぜそうなったか考えるところから、樹木や森林の話に移れることもあるし、子どもたちは意外に興味をもってくれます。

▶女子と男子の違いははっきりしています。女子が好きなもの、興味をもつものは、ツルツル、フワフワ、キラキラのもの等で、それがなぜそうなるかとか、専門用語での説明はいりません。キャーとかワーとか驚いたり喜んだりで結構満足します。一方、男子は、理屈や専門用語、うんちくが好き。男子はいろいろな木材（重い木や軽い木、木材の感触）を触って長い時間楽しむ。いろいろな木材がおいてあっても、女子はほとんど興味を示さない。

▶実物で興味を惹くには、枝に生えたキクラゲの仲間が使えます。雨のあとなどに、キクラゲ、タマキクラゲなどの枝に付いているものを集めてきて乾燥しておく。座学での説明やブースの出展でこれを水につけておくと 20～30 分でもとの形に戻り、キノコを観察できる。ツチグリモ湿ると動くことが分かる。これから森林の物質循環の話にまでつなげることができる。

▶子ども樹木博士を 45 分授業で実施。普通は半日とか一日かかりますが、学校では時間がとれず、1 コマでやってほしいという要望。まず、20 分間教室でパワーポイントで樹木の成長と校庭にある 4 種の樹木の特長について説明。ワークシートを用意し、番号をつけた校庭の樹木から 4 種の樹木を探し出すゲーム 20 分間をおこなう。最後に感想やまとめ 5 分間。

